

# 非文末「ですね」の談話語用論的機能

——心内の情報処理の観点から——

富樫 純一

キーワード：情報処理、検索モニター、談話標識、turn-taking、配慮

## 要 旨

談話において、文中の要素に「ですね」という形が付加される場合がある。単なるつなぎ言葉、あるいはポライトネスの標識として位置付けられ、見過ごされがちな形式である。しかし、この非文末の「ですね」は、コーパス調査による傾向の分析では、心内の情報処理との密接な関わりが指摘できる。

その観点から、非文末「ですね」の機能を次のように記述する。

(a) 検索処理をモニターする

(b) 自分の turn が非円滑に展開する(している)ことを示し、会話参与者に配慮する

## 0. 問題の所在

日本語の談話では、以下のように文中の要素に「ですね」が付く場合がある。

- (1) 1:……(略) どういう風にその、おー、ノンバーバルにですね、言語じゃなくて非言語的に、えー、どんな判らないことが起きたってことを事細かにこう、綴ったわけですよ(2:なるほど)、でー、そういう面も扱っていらっしゃるんですか。
- 2: えー、そこまではですね、あの一、マニュアルとしてはそういうものがあるという話はしますが、それを個々にあの一、データとしてですね(1:ああ)、そろえてはまだありません(1:なるほどねー)。それはやはりあの一、かなりのクライアントと接してですね(1:うん)、ストックを持っていかないこと

には(1:うんうん)、むしろそういうのは、まああのー、私が知っている仕事のあるコンサルタントの中で(1:うん)、あのー、もってらっしゃる会社はありますね。……(略)

(corpus45.txt 22)\*1

このような文末ではない位置に現れる「ですね」は、いわゆる「つなぎ言葉」としての意味合いしか持たないと捉えられ、その本質的な機能について議論が及ぶことはなかった。また「ね」のポライトネス表示として「ですね」を位置付け、単なる「「ね」の丁寧形」とすることにも疑問の余地がある。

本稿では、文中に現れる「ですね」形を「非文末「ですね」」と呼び、コーパスによる用例調査を中心に、以下の三点について考察する\*2。

- (a) 非文末「ですね」の出現しやすい状況・傾向
- (b) 非文末「ですね」の持つ機能
- (c) 会話レベルでの語用論的機能

---

\*1 括弧内の表記の意味は次の通り。使用コーパスについては本稿末尾に記載した。

corpus45.txt 22

└── [コーパスのファイル名] [行番号]

なお、用例は表記を改めた部分がある。この表記のない例はすべて筆者の作例である。

\*2 非文末の「ですね」を扱う前に、非文末「ね」を扱うべきではないのか、という疑問もあるかと思う。これについては、「ですね」と「ね」をどのような関係として位置付けるのかという根本的な問題と関わってくる。本稿の立場とすれば、「ですね」と「ね」を単なる文体差の問題としては考えない。これについては本文中で触れている。

また、機能を考察していくにあたって、はっきりさせておきたいのは、例えば、ある表現Aが語用論的機能Xを持つとすると、「Aを発話することでXを示す」ことは指摘できても、「Xを示すためにAを発話する」ことの必然性は指摘できない、という点である。つまり、 $A \rightarrow X$ という関係は成立するが、 $X \rightarrow A$ は成立しないのである。何らかの語用論的機能を記述する際に注意しなければならないのは、まさにこの点であり、AとXが唯一の対応を持っているという結論は機能記述だけでは得られないのである。

さらに言えば、Xという機能はAだけに還元されないものであるから、Xという機能を持つ表現が他に存在する可能性もある。当然、それを考察するためには、「それ以外」に関する十分な検討が必要となる。

## 1. 前提

### 1.1. 定義

本稿で扱う「ですね」は非文末に限定される\*3。したがって、次のような後置表現の例は範囲外となる。

(2) 2: いない人とか、今いるかもしれないけれども、もう歳とっているけど、そのころ、若いころの(1: ええ、ええ、ええ)人たちが出てくるっていう。

1: あー、それで息子はそのいない父らを見るわけですね、そこに。

2: そうですね。

(corpus06.txt 33)

また、turn 冒頭の単独「ですね」は、「ね」との互換がないことに関しては検討しなければならないが、次の(3)のような例は「そうですね」の省略として考えていく。

(3) S 22日は盛大になりそうですね。

Y ですねえ。HさんYさん

S うん。25人はいくんじゃなかったっていう//(\* )

(地域.txt 7658)

このように見ると、非文末「ですね」は何らかの要素に付加されなければならないことになる。このことは本稿の議論において重要な観点である。

また、音的な違いによるものは全てまとめて非文末「ですね」として扱う。「ですねー」や強い言い切りの「ですね(ですねっ)」等も含めて扱う。

---

\*3 このような「ですね」を「ね」の丁寧形とする見方もあると思われる。しかし、非文末に現れる形としては、「ですね」「ね」の他にも「だね」という形式が存在する。

(a) 今日ですね、～。

(b) 今日だね、～。

(c) 今日だね、～。

この三者の関係を明確にすることが、まず果たされねばならない、本質的な問題であると思われる。しかし、本稿ではこの三者間の扱いについては保留する。本稿で検討するのは「ですね」のみとなる。

## 1.2. 先行研究

いわゆる非文末に現れる談話標識を扱っているものは管見の限り少ない。本稿では、山森(1997)を取り上げる。

山森(1997)は、「ね」の本質的機能を、「現行発話と先行状況との非整合性の欠如表示」にあるとし、現行発話に「ね」を付加させることで、「先行状況の判断をそのまま引き継ぐ」「会話の連鎖を作る」「以降の会話のフレーム(会話の構成員のグループについての要約あるいは大枠のようなもの)への注意を喚起する」といった機能があると指摘している。

また、単独で用いられる「ね」、そして「名詞句+ね」を取り上げ、これらの「ね」もまた「会話の連鎖」を作る機能を持つとしている。

(4)「また、文頭に単独で現れる「ね」もあった。

(16) ね、ね、あのね、このあいだNHKでね。

この「ね」も、以降の会話のフレームへの注意を呼びかけるもので、会話の連鎖を作る「ね」の機能が前面に押し出されたものと考えられよう。」

(山森(1997), p.143)

「会話の連鎖」を作る機能として捉える点は示唆的である。もちろん、その概念や記述に関して疑問がないわけではないが(特に「会話のフレーム」について)、「会話の連鎖」という概念はポイントとなる。「ね」が文末(turn<sup>\*4</sup>末尾)で用いられれば、それは話し手と聞き手との会話のつながりになり(山森(1997)ではより厳密な分析がなされているが)、(4)の例のように、文中で用いられれば、話し手のturn内部での「会話の連鎖」になると思われる。

ただし、非文末「ですね」との関わりを考えてみた場合、例えば、(4)の例を「ですね」に置き換えると、やや不自然な表現となる。

(5)??ですね、ですね、あのですね、このあいだNHKでですね。

「あのですね」「NHKでですね」は自然だが、turn冒頭に現れる単独の「ですね」

\*4 turn-takingの規則等については、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)を参照。

はほとんど許容されない。非文末「ですね」はほぼ全て「ね」に置き換えられる<sup>\*5</sup>。しかし、turn 冒頭の「ね」だけは「ですね」に置き換えられない。このことは、非文末「ですね」を「ね」との文体差、つまり「ね」の丁寧形として位置付けることができないことを物語っている<sup>\*6</sup>。

## 2. 非文末「ですね」：傾向

コーパスを用いて、非文末「ですね」の用例を採取した<sup>\*7</sup>。結果、非文末「ですね」の使用に際し、ある傾向性が見られた。本節ではその指摘を行う。

### 2.1. 検索モニターマーカとの関係

まず最初に指摘できるのは、非文末「ですね」の前後に、「ええと」「あのー」等の、心内領域で検索処理を行っていることをモニターする標識(定延・田窪(1995)<sup>\*8</sup>)が、非常に多く現れることである。以下、いくつか例を挙げる。

(6)1: そうですね。あの、日本で、テントをはるキャンプっていうと(2:うん)、具体的にはどのへんにいらっしゃるんですか?

2: あー、最近はですねーあのー、丹沢のほうに(1:うん)、ま、近い、こっから電車で(1:うん)ー2時間位、ちょっと位なんで(1:ええ)、丹沢によく行くんですけど。

---

\*5 スピーチ・レベルの観点で捨象した、純粋な文としては可能であるということ。

\*6 単独で用いられる「ね」と、いわゆる名詞句に付加する「ね」を異質なものとして扱う立場もあるかと思われるが、本稿では山森(1997)に従い、「ね」の本質的機能の一つに設定する。したがって、いずれの「ね」も同質なものとして捉える。

\*7 採取した用例は全部で160例。

\*8 定延・田窪(1995)では、情報処理の記憶領域として「心的操作領域=心的データベース」を設定し、その内部に「作業領域」、心的バッファを設定している。このような心的領域の設定に基づき、「ええと」「あの(ー)」の機能の違いを次のように説明している。

(a) 「ええと」…心的データベースでの演算領域確保操作(および検索や計算等の演算処理操作)を標示する標識

(b) 「あの(ー)」…心的データベースでの言語編集操作を標示する標識

いずれも、心内のどの何らかの情報処理が行われていることをモニターする表現であり、本稿では基本的に「検索処理」として一括して呼ぶことにする。

1: はい、で、テントをはって何日位？

2: 長いと一週間以上いますけどー。

(corpus07.txt 142)

(7) 1: 将来は、どういう方向にいらっしゃりたいと？

2: うーん(1:ん)、でき得れば、えー、大学に残って(1:うん) まあ、院のほうに進んでですね(1:うん) えー、ま、院のほうに進みたいと思っております。

1: うーん。で、院のほうに進むというのはかなりその、何を勉強したいっていうことは、決まってるんじゃないでしょうか？

2: えー、そ、特に一つに選ばれているわけではないんですが(1:うん) えー、まあ、二、三、候補はありますね。

(corpus17.txt 20)

(8) 1: あ、失礼ですけどお子さんまだお小さくいらっしゃるんですか？

2: ええ。 あのー、下の子はですね 中学いま一年なんです(1:あ、そうですか)。で、上の子は現在地方に行ってますので、一緒にはおりません。

1: あーそうですか(2:はい)。じゃその中学一年のかたに、どちらかという(2:ええ) 甘いという。

2: ええ、そうなんです。ええ。笑

(corpus19.txt 20)

(9) O はい。

K あのー、なんの違和感もなく。

O あの、最初はですね、顔の輪郭なんかも結構似てまして、

K ええ。

O 身長もあのー、ぴったりだったんですけど、

(地域.txt 1054)

(10) 2: でも、あのー、そうですねー、日本は、それほど(1:うん) 簡単には、ちょ(1:そうですねー)、長期の休みは、なかなかとれないようですけど(1:うん)、でも、今はあの、メーカーさんなんかも、あのーお盆の頃とか(1:そうですね) けっこう(1:かなり) 一週間十日、長い休みがとれるよう(1:はい)、ようになったと聞いておりますけど。 あのー、そ、そしてですねー、もう一つ、労働時間と関係があるんですけど。

1:はい。

2:あの一日日ですね。

(corpus29.txt 45)

(11)2:はい、もしもし根津さんですか。えっと、根津さんにええ、今度映画をいっしょに見に行きたいと思ひましてですね、お電話いたしました。そいでねー、えーと映画は、えーとね、ロボコップ2、ロボコップ2をいっしょに見に行きたいと思ひますね。今度の土曜日の、ええっとね、午後六時に、うーんとね、え、ガーデン、ガーデンレストランの、えー、前で、おー、待ち合わせをしたいと思ひます。それではよろしくお願ひいたします。さようなら。

(corpus38.txt 136)

(12)2: [笑] えー、あのーえー、わ、学生時代に(1:うんうん)わたしがあのーフランス語のえー、クレディフという方式の(1:うん、ええ)あのーオーディビジュアルの(1:ええ、ええ)あれを受けましてもうカルチャーショックを受けて(1:うん)あのすごく楽しかった、あーあのー記憶がありまして、その当時あのー日本語バージョンで(1:うん)わたしのほうはこれを、あの、国文科だったものですからやってみたらおもしろいと思ひたんですが、あの、当時は需要がありませんで(1:あー)、あのーそういう仕事が、あのー確立っていうかあるとは思ひませんでしたけれども勉強もそういう勉強があるっていうことを、知りませんでした(1:うん)、まああのー数年前から、えー、そういうこういう状況になってきて(1:うん)あのー勉強するところもあるし、そういう仕事もあるということで、始めました。

1:あーそうですか(2:ええ)。なるほど。はい、ええとところですね、あのー、うーんと、学生さん達ーは、あのーしが、三月になると、ええと入学試験を受けるーわけですね。

2:はい。

1:どうですか？ 最近のそのー成果というか、[笑]

(corpus01.txt 47)

(13)2:時給が高めにしてあるんですか。

1:あ、そうです(2:あ、そういう)。よそよりも高くなっています。

2:あ、そうなんですか(1:はい)。いや、ええっと、でもですね、時給とやはり

あの、通勤手当というのは別になると思うんですけども(1:はいはい)。えー、今やはり JR とかも値段が上がってますし、あの、100円で往復一日通勤するってことは不可能ではないかと思われるんですけども、いかがお考えでしょうか。

1:ん、そうですか。じゃ希望としてはどういいう希望、

(corpus08.txt 72)

(14)1:そうですか、まああの一、ちょっと話が飛びますけども最近沖縄でね、その小学五年生でしたかね(2:ええ、ええ)、女の子が(2:はい)その暴行を受けて(2:うん)まああれも一種の沖縄人というのは日本のなかでは沖縄王国でごく割合それこそ明治の初期に初めてね日本に合併されて今でも差別を受けていますよね(2:そうですね)。ええ一、まあ戦争の五十年経ってもまだその一、何か(2:しこりが)しこりがずっと残っていてしかもその上にああいうような出来事を受けて(2:うん)、日本政府がたい、対応してないということでああいうことはどうなんですか。

2:そうですね、まあ今回その問題どう取り上げるかですけれども(1:うん)、ま、確かに沖縄の方から見ると(1:うん)日本のこと、皆さんあの一、内地でというにこう呼んでいますよね(1:そうですね、そうですね)、やはり自分たちは違うんだという意識がまだあるでしょう。まあただ今回は私はそういったところに視点を当てるよりは(1:うん)、むしろちょっとちがう点に視点を当ててみたいな、と。あの一、ちょうどアメリカのニュースを見ている時にですね、その一(1:うん)、その、犯罪を犯した三人の方が犯罪を犯したっていう話ですが(1:そうですね)、一人の黒人の方の写真が出てきましたね(1:うん)、で、後の二人が黒人の方か白人の方かすら、私は知らないんです(1:うん)。……(以下略)

(corpus45.txt 67)

波線部に示したとおり、検索モニターマーカー(「ええと」「あの一」「その一」等)が非文末「ですね」の直前あるいは直後にかなりの頻度で現れることが分かる。なお、非文末「ですね」の直後に「あの一」が位置するパターンがもっとも多い。

作例による内省判断においても、淀みなく非文末「ですね」を含む表現を発話するのには、多少の違和感があると思われる。例えば(15)では、aが相対的に若干不



自然になる\*9。(ただし許容度が明らかに異なるというものではない。)

(15)a 今日はですね、ハンバーグを作ってみたんですよ。

b 今日はですね、あの一、ハンバーグを作ってみたんですよ。

c 今日はですね一、ハンバーグを作ってみたんですよ。

ここから、非文末「ですね」と心内の情報処理との何らかの関連性が指摘できる\*10。

## 2.2. あいづちとの関係

次の傾向として、あいづちが挙げられる。非文末「ですね」の直後に会話参加者のあいづちが挿入されやすいのである\*11。これは母語話者としての直観でも領けるものである。

(16)1:あの一、ここで申し訳ないですけど、ロールプレイですね(2:はい)、あの一、じゃあ、今、スポーツの話が出たんでですね(2:うん)、今日、運動会と(2:うん)、運動会と考えていただいて(2:うん)、一分ぐらいで結構ですから(2:うん)、運動会のね、へへ、ご挨拶をしていただくってどうですか。

2:ああ。

---

\*9 この差は、検索モニターマーカの有無だけの問題ではなく、非文末「ですね」と次の発話との物理時間の有無(つまりポーズの長さ)も一つの原因になっていると思われる。

\*10 (15)は状況の設定により、多少許容度が左右される。あらかじめセリフとして想定されているとすると、(15)aもそれほどの違和感はなくなると思われる。これは逆に考えると、そのような状況を想定しなければ、淀みなく非文末「ですね」を発話することができないということであり、まさに心内の情報処理との関連性を裏付けるものとなる。

\*11 用例の表記の方法は、あいづち等の、turn が移行しない会話参加者の発話は丸括弧で挿入する形を取っている。もともとのコーパスがこのような表記方法を採用していたためでもあるが、結果的に、あいづちと非文末「ですね」との関係が明確になっている。しかし、「発話の重なり」を考えると、この表記は満足のいくものではない。なぜなら、あいづちと話し手の発話とが重なっていないことを表現できないからである。したがって、ここで挙げている用例のあいづち部分がはっきりと「ですね」の直後に現れているかは、実際のところは不明である。本来ならば、音声データを検討した上で、分析しなければならないのであるが、時間の都合上、行っていない。ただし、内省として、「ですね」直後のあいづちはかなり自然な発話であると思われるので、このまま議論を進めていく。

1: 子供たちにお話しされると(2: ええ) 思ってですね(2: ええ)、しよ、先生は中学校ですか。

(corpus49.txt 46)

(17) 1: そうかもしれませんねえ。じゃちょっとその、あの、堀さんにはあまり、縁のな、なさそうな話なんです(2: はい)、というのですね(2: はい)、どこかで、あのお金、が、からむアルバイトをする(2: はい)。ということ、なつたとしますね(2: はい)。で、あの、アルバイト、の面接にいらっしゃる(2: はい)。で、一、いらして、あの、こういう、図書館の、アルバイト、という、のがセッティング(2: はい) |\*| (2: はい) まあ、条件が、そういう条件を提示されていた場合に、少し条件を、よくする、形の、話し合いを、持っていたきたい。

2: ああ、そうですか、はい。

(corpus35.txt 109)

(18) 2: あったと思いますよ

1: うん。そういう時はどう、どういう風に、断ればいいんですか？

2: そういう時はですね(1: うん)、あの、人に振るんですよ。

1: あ、ひ、どういう、もうちょっと具体的に、おっしゃって頂けます？

(corpus13.txt 60)

(16)(17)はあいづちのみが現れている例であるが、実際には(18)のように、あいづち・検索モニターマーカ、いずれもが出現している例が非常に多い。

「ですね」の後ろのあいづちは、「発話の促進」というあいづち本来の機能だけではなく、何らかの「確認」の意味合いも持っているのではないだろうか。単に「相手の発話を聞いている」ことを示すのではないのかもしれない。

### 2.3. 検索の曖昧さを示す表現との関係

もう一度、検索処理と非文末「ですね」との関係に視点を置く。発話では、検索モニターマーカ以外にも検索処理行為が関わっている場合がある。ここでは、「言い淀み」および「とか」の用例を見てみる。

(19) C なんかいいい方法ないかなー。

M ひーってなったから。

U それだったらもっとこのですね、工事中、工事中のあれおもいきつ、ほんとに綱引きするんだったらほんとの綱引き用のロープ使わないと手が痛いと思うよ。

M 借りれないかな？

C 小学校とか。

(地域.txt 5548)

(20) T もう今一番皆さんがなりたいというアニメの声をやってらっしゃっている声優ってらっしゃているんですけど、なんと元看護婦さんってらっしゃるんです。それで、何と言っても、みんなが大好きな、ええと、エヴァンゲリオン、

H そうですね。{笑}

T エヴァンゲリオンのですね、綾波レイ、綾波レイという今本当に人気のキャラクターの声をやってらっしゃっています。林原めぐみさんです。

(地域.txt 4603)

(21) 1: そうですね。ニューヨークは、まあ、わたくしも、二度、行ったことがございますけれども、最近ではないんですが、ずいぶん、やはり、東京とくらべて、違うと思うんです(2: ええ)けれども、一番違うところってというのはどんな、ところだと(2: うん)、まあ、思われますか？

2: そうですね、えー、やはり、メルティングポットいわく(1: あ) 人種がですね、様々な、世界かく、様々な(1: うーん)人種が、ほんとに小さいところにこう密集してるってゆう(1: はい)ところが、まず違いとして(1: うーん)、頭に、それがすぐに浮かびますけれども。

1: あ(2: はい) そうですね。あの安全面などはいかがですか？

(corpus21.txt 22)

(22) 1: そうですね。うーん、はい、じゃあもう一つお願いしたいんですが。

2: はい。

1: ええとね、映画にしましょう(2: はい)。映画ということで、で、そのタイトルとかですね(2: はい)、映画の題名とか時間とかそれはもう全部お任せさせていただきます。ちょっと考えて下さって結構です。

2: はい。

1: よろしいですか？ じゃあ私が留守電のあの、メッセージのところから始めますので(2: はい)。もしもし、根津でございます。ただいま留守にしております

すので、発信音の後にメッセージをお残してください。ありがとうございます。

(corpus10.txt 67)

(23) 1: 例えば、お話、し、していただけますか？

2: ええっと一つはまあ、公共経済学といって(1: うん) えーまあ経済学のうちの一つの分野なんですけれども(1: うん) え、要するに、税金をですね(1: うん) 税金を、その一、えー、課する場合に(1: うん、うん) えーどの位の割合で(1: うん)、えー、その(1: うん、うん)、税金を設ければ、えー一番その(1: うーん) 国民にとって、もっとも効率が良いのか、とかですね(1: うん、うん)、それから一、うーんまあ、それからどうすれば、え、平等に(1: うん) その税金を(1: うん) えー課することができるのか(1: うん) とかそういう問題を。

1: じゃ、経済学その、観点から見まして(2: はい) その一先日、発表されました(2: はい) 消費税5%にアップというのは(2: はい) どう、どういうふうに、ふふ、(2: うーん) お考えですか？

(corpus17.txt 26)

(19)～(21)および(23)の前半部は「言い淀み」の例、(22)および(23)の後半部は「とか」が現れている例である。

「言い淀み」や「とか」は、情報の計算・検索結果が不確実であることが一つの要因となっている表現であると考えられる。ここからも、非文末「ですね」と検索処理との密接な関連を捉えることができる。

#### 2.4. 直接、検索モニターマーカーに付加される場合

四番目の傾向として、「検索モニターマーカー」そのものに「ですね」が付加される場合がある。

(24) 1: あー、そうですか。あの一、まあ、色々世の中に仕事はあると思うんですけども、どうしてまた日本語を外国人に教えるって言う仕事を選んだんですか。

2: えーとですね、ほくは、あの、大学時代、学生寮に住んでいまして、それで、そこは外国人の留学生もたくさんいる寮だったんですね(1: えー)、それで、あの一、なんか、こう言葉と言う物に興味を持って、もちろん言葉が通じるから分かり合えるわけではないですけど、言葉があるおかげで助かる部分っていうのがかなりあって、そういう関係の仕事につけたらなあーと思って、

それで結果的に日本語を教えるっていう方向に今おちつつ、おつき、落ち着きつつありますけれど。

1: あー、そうですか。あの、将来的にはどういような、あの、形の仕事を考えてらっしゃいますか。

2: えーとですね、正直言って、まだどういう形って言うものが見えていないんですけれども(1: うん、うん)、少なくともあと数年は日本語を教えるっていう、言う方向で考えています(1: うん)。それで、さい、あの、できればずっと、日本語に関係ある仕事に(1: うーん)つきたいんですけれども、それが必ずしも教えるという形には、ならない(1: ならないと思う)かも知れませんね。

(corpus28.txt 14)

(25) 2: いうのが(1: あー)、最後(1: そうですか)エンディングのタイトル、なんですね。

1: じゃあ、あの一、あのですね、あの、死ぬまで(2: ええ)、あーかなり若い時に(2: そうですね)、その病気になって(2: ええ)。死ぬまで。そうですか、なんか悲しい映画ですね。

2: ええ、だから、重かったですけれども(1: ね)、ん。

1: じゃ、あの創作活動もその病院に入った段階で・・・。

(corpus37.txt 116)

(26) 1: はい、あー、初めまして、牧野です。よろしくー。

2: あ、初めまして城と申します。よろしく申し上げます。

1: えーとそうですね、始めにね、私は城さんのことを知りませんから(2: はい)、城さんの略歴を、口頭で(2: はい)、発表してみてください。

(corpus43.txt 3)

もともと、付加する要素が「検索モニターマーカー」なのであるから、検索処理が関わっていることはほぼ自明であると思われる。また、この「検索モニターマーカー+「ですね」」形式(以下「ええとですね」系と記す)は turn の冒頭に現れやすい傾向も認められる。

このことから、「ええとですね」系は、その時その時の情報処理と関連付けられるのではなく、turn 全体の構成とでも言えるような処理に関わっていると考えることができる。

以上、非文末「ですね」が出現する状況を分析した。結果、次のような傾向を得ることができた。

- (d) 検索モニターマーカー・ポーズが「ですね」句の前後に現れやすい
- (e) 会話参加者のあいづちが入りやすい
- (f) 不確実な検索結果を提示していると考えられる箇所に「ですね」が現れやすい

次節ではこの傾向に基づいて、非文末「ですね」の持つ機能を考察する。

### 3. 非文末「ですね」：機能

#### 3.1. ミクロレベル 一心内処理を示すモニターマーカーとして一

まず、非文末「ですね」を、心内処理を示すモニターマーカーとしてどのように捉えるか、について検討する。

非文末「ですね」の出現傾向は、一つに出現位置に偏りがないことが挙げられる。turn 内のどの位置にも現れうるのである。これはつまり、個々の発話の処理に関わっていると考えることができる。もう一つは、非文末「ですね」は検索モニターマーカーやポーズとの親和性が高く（つまり共起しやすい）、また検索処理の不確実性を示す部分と「ですね」の関連性も高いことである。

さらに一文内の傾向として、述語に近ければ近いほど、「ですね」句発話に対する違和感・不自然さが強くなる。一つの文を発話するための計算処理が、述語が発話される直前まで続く、ということはかなり状況を限定しない限りないと思われる。よって、次の(27)は許容度に差が生じる。相対的に(27)cがもっとも据わりの悪い発話となっている。

- (27) a 昨日はですね、家で、ハンバーグを作ったんですよ。  
 b 昨日は、家でですね、ハンバーグを作ったんですよ。  
 c 昨日は、家で、ハンバーグをですね、作ったんですよ。

- (28) A 自炊？ 昨日は何作った？  
 B1 昨日は、ハンバーグを、あの一、作ったんですよ。  
 B2 昨日は、ハンバーグをですね、作ったんですよ。  
 B3 昨日は、ハンバーグをですね、あの一、作ったんですよ。  
 (cf 昨日は、あの一、ハンバーグを作ったんですよ。)

何らかの意味で、計算によって発話内容が確定している場合における、「ですね」

の親和性が低い。例えば、(27)cのように述語に近い位置、あるいは(28)B1~B3のように、発話内容に関しての計算(「作ったものはハンバーグである」)が終了し、これ以上の検索処理が生じない場合はいずれも多少の不自然さが感じられる。

また、非文末「ですね」は単なるポライトネス・マーカでも、いわゆる「つなぎ言葉」でもないといえる。これは、先に示したとおり、turn の冒頭に単独で「ですね」が現れず、その点が「ね」との差異を生み出しているからである\*12。

(29)??ですね、今度は、カレーを作ってみましょうね。

非文末「ですね」の据わりの悪さは、特に「ええとですね」系に顕著である。「ええとですね」系はその出現位置に大きな制限がある。

(30)??今度は、カレーを、ええとですね、作ってみましょうね。

(31)??今度は、カレーを、あのですね、作ってみましょうね。

これらの点から、非文末「ですね」は心内の検索処理と関わりがあると考えられる。そしてその機能は次のように記述できる。

(g)非文末「ですね」の機能：心内での検索処理をモニターする

談話における発話は、その内容・表現形式を、話し手が心内で完全な形で計算し終えてから行われるわけではない。それは(おそらく)物理的に困難であり、会話の協調性を著しく逸脱しているだろう。したがって、通常の会話における発話は、「逐次、情報を検索しつつ、結果を提示していく」という形になっていると思われる。だからこそ、文中に検索処理を示すモニターマーカが出現するのである。

この検索の逐次性と非文末「ですね」との関わりを考えると、非文末「ですね」もまた、「ええと」「あのー」等と同じ検索処理をモニターするものと捉えることができる。そして「ですね」に特徴的なのが、検索の未完了段階(継続段階)において、その時点で検索が終わっている情報を提示し、それに「ですね」が付加されている

---

\*12 しかしだからといって、「ね」が「つなぎ言葉」としての役割しか持っていない、というわけではない。

点である。

ただし、非文末「ですね」の機能を(g)のように記述しただけでは、典型的な検索モニターマーカ-との差異が明確にならない。実際には、非文末「ですね」は典型的な検索モニターマーカ-とは振舞いが異なる。

- (32) a ええと、あの一、あの一、ここから先はどうやったらいいんですか？  
 b??ええとですね、あの一ですね、あの一ですね、ここから先はどうやったらいいんですか？  
 c??あのすね、ここからすね、先はすね、どうやったらすね、いいんですか？

単に検索処理をモニターするだけならば、検索モニターマーカ-を用いればいいはずである。それにも関わらず、「ですね」が検索結果情報に付加されてしまうことが次の問題となる。次節ではそれに関して、会話参与者レベルというより大きな談話の観点から非文末「ですね」にアプローチする。

### 3.2. マクロレベル —語用論的アプローチ—

談話は単に自分の情報処理のみで展開するのではなく、当然、会話参与者との関係性が考慮されてしかるべきである。そこで、非文末「ですね」を会話参与者に働きかける語用論的機能の側面から検討してみる。

非文末「ですね」の本質的機能を「検索処理モニター」と位置付け、さらにもう一つの傾向として、会話参与者のあいづちが「ですね」発話直後に挿入されやすい、という点を考慮する。この二点から算出できるのは、このタイミングでのあいづちが単に発話の継続を促すためのものではなく、何らかの「確認」の意図があるのではないかというものである。そこで、非文末「ですね」の語用論的な機能を次のように規定する。

(h)非文末「ですね」の語用論的機能：

自分のturnが非円滑に展開する(している)ことを示し、会話参与者に配慮する

配慮自体は「聞き手負担」を軽減させるためであるが、検索処理が継続中であるため、何らかの情報を提示することで聞き手の負担を減らすことはできない。検索処理が行われていることは、発話が円滑に進行しないことの裏返しである。したが



って、そのことを非文末「ですね」で明示することによって、会話参与者への配慮を行っているのである。

その軽減不可能な状況を断るために、「ですね」が使用される。それは、会話そのものの構築に対する配慮でもある。会話は参与者が存在しなければ成立しない。つまり、会話参与者に対する方向性を持つということである。そしてそれは「検索・計算という心内の操作が続いていることに対する断り」である。その意味で、本稿で挙げた二つの機能(g)(h)は共に本質的であり、密接なつながりを有しているのである。

非文末「ですね」は心内操作のモニターとして機能するだけでなく、対会話参与者という方向においても機能しているのである。もちろんこれは「です」そのものの持つ機能が大きく関わっていることも要因であると思われる。

しかし、一部の用例や内省判断では上記のような機能が直観的に感じ取れないものもあると思われる。だが、これは「態度の表出」という効果を狙ったものとして処理することができる。「態度の表出」については、定延・田窪(1995)に記述がある。以下、引用する。

- (33) 「……このことからすれば、話し手が「あの(一)」を用いることにより、発話形式に気を配っているという態度を表出し、結果として発話のぞんざいさ・さしでがましさを減殺できるということは、容易に理解できる。」

(定延・田窪(1995), p.86)

- (34) 「……話し手は、「ええと」や「あの(一)」を使いながら、実際に演算領域確保や言語編集をおこなっているとは必ずしも限らない。話し手がおこなっているのは、あくまでそうした態度の「表出」にすぎないからである。」

(定延・田窪(1995), p.87)

非文末「ですね」の本質的機能を心内の情報処理モニターマーカーとすると、常に「ですね」発話の背後で検索処理が(疑似並行的に)行われていると考えられるが、実はそうではない<sup>\*13</sup>。「態度の表出」とは、実際には行われていないが、何らかの派生的な効果を得るために、本質的な機能をフィードバックさせることである。例えば、

---

\*13 非文末「ですね」の形式差による機能の差も考えることができる。例えば、「ですねえ(一)」のような形式は実際に検索処理を行っていると思われる。

- (35)今日は、中央公園でですね、バザーがありますよ。  
(36)今日は、中央公園で、バザーがですね、ありますよ。  
(37)今日はですね、中央公園でバザーがありますよ。

(35)(36)は、(37)と比較しても相対的に、なかなか「検索処理中」かどうかを判断しにくい。これは、述語に近い位置にあるため、もともと検索処理は行われていないとすることができる。ということは、検索処理のモニターとしてではなく、「(他でもない会話参与者のために)検索している態度を表出」することで、「ですね」が付加された情報への注目を集めるために用いられたと捉えられる。これは次のような解釈過程によって生じる。

- (38)非文末「ですね」の使用 → 会話参与者への配慮 → 配慮して検索処理をした情報の注目度が高い → その情報は会話参与者にとっても重要と解釈される

つまり、ポイントとなる発話で用いることで、その情報の重要性を明確にすることができるのである。逆に会話参与者に当該情報の重要さを認識させるための、一つの手段として(38)の過程を逆行する。その結果として、「注目表示」の効果を持つ非文末「ですね」が発話されるのである。検索処理と無関係な箇所では非文末「ですね」が出現するのは、このような語用論的效果の利用要請が先に起動するためである。

しかし、あくまでも「注目表示」は語用論的な効果でしかない。仮に注目表示を本質的機能として捉えてみると、次の例のうち、(39)が相対的に不自然になるという理由が説明できない。

- (39)今日は、ハンバーグをですね、作ったんですよ。  
(40)今日は、ハンバーグをですね、作ってみたんですよ。  
(41)今日はですね、ハンバーグを作ってみたんですよ。

「作った」よりも「作ってみた」という表現のほうが心内における計算が必要となりやすい。「作ってみた」のほうが構造的により複雑だからである。心内処理の過程を「ですね」が示すと考えないと、計算の過程が少ない「作った」と「ですね」が親和性が低いことの説明がつかないのである。したがって、「注目表示」は副次的な効果ということになる。

「注目表示」という機能は、あくまで解釈から生じた語用論的效果でしかない

いうことである。これまで見てきたような非文末「ですね」の傾向も併せて考えると、検索処理とのつながりが本質であり、「注目表示」は二次的なものと結論付けられる<sup>\*14</sup>。

最後に、非文末「ですね」では、「～ですね、あのー、～」のパターンが多いことを示したが、その理由を考えてみたい。簡潔に言えば、会話参与者に適した表現形式を検索しているからである。「あのー」で表現形式の情報処理をモニターするのであるが、その中でも特に「会話参与者に配慮した」検索を行っていることを、「～ですね、あのー、～」で相乗的に示している。その意味で、非文末「ですね」における、「検索処理モニター」と「会話参与者配慮」の二つの機能は相補的であるといえる。

逆に検索モニターマーカーが現れない場合は、検索との関わりが希薄になり、「注目表示」の効果のほうに解釈されやすい。

(42) 今日はですねー、あのー、ピクニックに行こうと思います。

(43) 今日はですねー、ピクニックに行こうと思います。

上では(42)のほうが相対的に「会話参与者への配慮」を示していると解釈される。

非文末「ですね」の本質的機能としては「モニターマーカー」であるが、もちろん、これらの非文末「ですね」は語用論的效果として、当該の情報あるいは以降に展開する発話への注目を求めることにもなる。単なる検索モニターマーカーと異なり、非文末「ですね」ではこの語用論的機能が強調される。それは「です」が持つポライトネス・マーカーとしての役割がその大きな要因となっていると思われる。

### 3.3. 積極的に使用されない理由

非文末「ですね」が上で示したような機能を持つとした場合、筆者の感覚では実

\*14 実際の発話の傾向として、非文末「ですね」は「注目表示」の効果を優先して働かせているようである(使用としても解釈としても)。「ええと」等の心的操作標識と異なり、非文末「ですね」の効果としての「注目表示」が本質的機能から「逸脱した用法」と捉えられにくいのは、「ですね」そのものが心内処理をマークするだけでなく、同時に会話参与者への方向性をも持つからであると考えられる。それはおそらく「です」および「ね」の持つ本質的な聞き手目当て性によると思われる。

例がそれほど多くないように思われる。それは何故だろうか。

(44) えっとですね、私、昨日ですね、山の中ですね、偶然 UFO をですね、見たんですよ。

さらには、(44)のように非文末「ですね」を一つの tum 中で複数回使用すると、非常に冗長さを感じてしまう。

その理由としていくつか挙げることができる。一つは、デフォルトのスピーチレベルをモニターマーカの付加的機能として示すことの必要性が特でないこと。二つ目は、それほど、「会話参与者配慮」の必要性を感じない状況と判断されれば、検索モニターマーカで十分代用がきくため。三つ目として、「注目表示」の語用論的効果を認めると、一つの tum で話し手が注目させようとする箇所は一カ所ではいはずだから、という理由があると思われる。

言語使用の側面から見ると、心内の処理をモニターするだけであるならば、それは話し手自身で完結することであり、使用の多少に問題はない。しかし、「会話参与者配慮」「注目表示」あるいは「態度の表明」という語用論的な機能が存在する限り、その使用は少なからず会話参与者への影響を持つことになる。影響を与えるということは会話参与者がそれを解釈するということであり、その分、負担が大きくなるのである。「聞き手の負担を最小限にする」原理にしたがって、非文末「ですね」の使用が控えられているのである。

#### 4. おわりに

非文末「ですね」の機能は以下のように記述できる。

- (i) 検索処理をモニターする
- (j) 自分の tum が非円滑に展開する(している)ことを示し、会話参与者に配慮する
- (k) (i)および(j)から、「ですね」が付加される要素、あるいは以降の発話への「注目表示」という語用論的効果が現れ、そのフィードバックとして、「注目表示」のために非文末「ですね」を用いる場合がある

本文中でも諸処で触れたが、問題は山積している。

「ね」「だね」「ですよ」等、非文末に現れる類似の表現についても、当然のこと

ながら十分な議論がなされる必要がある。本稿での非文末「ですね」の機能記述がその他の類似表現にも果たして適用できるかどうか、必然的な展開となるだろう。

また、より大きな問題として、対会話参与者に関わる処理操作も何らかの形でモニターできるのだろうか、という点がある。つまり、対会話参与者レベルに関わる心内領域を言語編集領域とはまた別に存在・設定することの言語学的な有効性についても論じる必要があるのではないだろうか。

### 参考文献

- Chafe, Wallace L. (1994) *Discourse, Consciousness, and Time*. The University of Chicago Press, Chicago
- 藤原真理 (1993) 「対話における相づち表現の考察 — 「そうですか」「そうですね」等を中心に —」『東北大学文学部日本語学科論集』3
- 金水敏・田窪行則 (1998) 「談話管理理論に基づく「よ」「ね」「よね」の研究」『音声による人間と機械の対話』堂下他編：オーム社
- 北野浩章 (1993) 「日本語の終助詞「ね」の持つ基本的な機能について」『言語学研究』12 京都大学言語学研究会
- Maynard, Senko K. (1991) *Pragmatics of discourse modality: A case of da and desu/masu forms in Japanese*. *Journal of Pragmatics*, 15
- 森山卓郎 (1989a) 「応答と談話管理システム」『阪大日本語研究』1 大阪大学文学部 日本学科(言語系)
- 森山卓郎 (1989b) 「コミュニケーションにおける聞き手情報 — 聞き手情報配慮非配慮の理論 —」『日本語のモダリティ』仁田・益岡編：くろしお出版
- 西原鈴子 (1991) 「会話の turn-taking における日常的推論」『日本語学』Vol.10, No.10
- 西阪仰 (1995) 「く会話をフィールドにした男」サックスのアイデア」『言語』Vol.24, No.7 ~ No.12
- Sacks, Harvey., Schegloff, Emanuel A. and Jefferson, Gail (1974) *A simplest systematics for the organization of turn-taking for conversation*. *Language*, 50
- 定延利之 (2000) 『認知言語論』大修館書店
- 定延利之・田窪行則 (1995) 「談話における心的操作モニター機構 — 心的操作標識「ええと」「あの(ー)」 —」『言語研究』No.108

- 杉藤美代子(1988)「談話におけるポーズとイントネーション」『講座日本語と日本語教育』第2巻：杉藤美代子編：明治書院
- 田窪行則(1992)「談話管理の標識について」『文化言語学 ―その提言と建設』文化言語学編集委員会編：三省堂
- 田窪行則(1995)「音声対話の言語学的モデル ―談話管理標識としての感動詞」『情報処理』Vol.36, No.11
- 田窪行則・金水敏(1997)「応答詞・感動詞の談話的機能」『文法と音声』音声文法研究会編：くろしお出版
- 山森良枝(1997)「終助詞の局所的情報処理機能」『コミュニケーションの自然誌』谷泰編：新曜社

使用コーパス：(1)「徹子の部屋」2会話・62KB

(2)「日本語会話データベースと談話分析プロジェクト」

(<http://corpus.fit.ac.jp/>)のコーパス。50会話・780KB →(corpus)

(3)1999年度・筑波大学文芸・言語研究科の日本語教育特殊講義(2)(砂川有里子先生)の授業で利用したコーパス。もともとは、日语言学類と地域研究科の学生による砂川先生のレポートの課題で、各自自然会話を録音し、書き起こしたもの。その中で、利用・公開が許諾されたいくつかのコーパスが、それぞれ「日语言学類.txt」「地域.txt」である。日语言学類.txt が26会話・556KB、地域.txt が15会話・362KB →(日语言学類、地域)。

(2000年7月3日 受理)